

## 令和4年度 学校評価 結果(保護者)

4:実践し、成果が上がっている      2:実践しているが、成果が不十分  
3:実践し、成果が上がってきている      1:実践が十分でなく成果がない

		達成率		増減
		R4	R3	
項目①	お子さんと授業の内容を話題にして、常にお子さんの学習の状況を理解しようと努力している。	74%	76%	-1%
項目②	家庭でお子さんが自ら考え、自ら学び、意欲的に学習ができるような雰囲気づくりや働きかけをしている。	72%	74%	-1%
項目③	親子読書に協力したり、自ら読書をしたり、読み聞かせをしたりするなど、お子さんの読書への興味が高まるような働きかけをしている。	66%	70%	-3%
項目④	児童が毎日楽しく学校生活を送っているか否か、家庭で話を聞くなど、親子のコミュニケーションに努めている。	90%	89%	1%
項目⑤	お子さんの自立に向けて、常に正しい判断力で、よりよく生きていくことができるようにお子さんとのコミュニケーションを大事にしている。	84%	83%	1%
項目⑥	お子さんのよさを見つけ、誉めるよう努力している。	84%	85%	-1%
項目⑦	家庭でも、自他の命の大切さや安全な生活を送るための方法などについて話題にし、我が子が実践できるように努めている。	84%	84%	-1%
項目⑧	お子さんが規則正しい生活が送れるよう、早寝・早起き・朝ご飯・排便の習慣づけに努めている。	86%	82%	3%
項目⑨	家族同士でも、誰に対しても、気持ちのよい挨拶ができるような雰囲気づくりをしている。	83%	76%	7%
項目⑩	お子さんが家庭でも進んで自分の仕事ができるように関わりをもっている。	75%	75%	0%
項目⑪	学校・学年だより、ホームページなどの情報をよく読み取り、子どもの教育に努めている。	74%	75%	-1%
項目⑫	お子さんは、外国語活動・外国語を楽しみにしていますか。	73%		
項目⑬	お子さんは、日常生活の中で、外国語活動・外国語で学んだこと(主に英語等)を積極的に活用しようとしていますか。	61%		

考察 ・⑪⑫は、今年度からの新規の質問である。決して高い評価ではないため、魅力的な授業づくりや、家庭との連携による活用の場の設定が求められる。

・家庭における読書習慣をより一層向上させるため、家庭教育学級等の取組を一層推進するなどの工夫をしていく。(③)

・挨拶の評価が上がった。学校でも自慢活動の一つとして取り組んでいるが、家庭でもよりよい人間関係づくりのために必要なこととして、大切にされていることが覗かれる。(⑨)